

2021 年度 第 1 回兵庫県審判トレセン 報告

日 時	2021 年 4 月 11 日 (日) 9:00~16:00
場 所	みきぼうパークひょうご第 2 球技場、球技場クラブハウス
参加者	藤田 和昭、福井 成弥、佐々木 拓也、トリム ジョサイヤ
欠席者	北村 朋也
スタッフ	浦元 雄一郎、福岡 渉、梶山勝弘 (報告)
インストラクター	井上 克己、瀬尾 保直
内 容	実技、講義

報 告

<開校式>

浦元トレセンマスターから 2021 年度の県トレセンの主旨と今回のテーマである「カテⅡパス合格に必要なこと」についての説明があった。また、コロナ感染予防についての諸注意があった。

<実技①> 兵庫県社会人リーグ 1 部 主審：福井 副審 1：佐々木 副審 2：丹有協会割当



<実技②> 兵庫県社会人リーグ 2 部 主審：藤田 副審 1：トリム 副審 2：北播磨協会割当



試合終了後に担当インストラクターから試合で浮き彫りになった課題と改善策のアドバイスを受ける。

<講義>

重大なミスにつながる可能性があるような、今後に活かせる事象を指導者がピックアップし、審判員とディスカッションを行い、解決策などを一緒に考え共有した。



何故、試合開始前にこんなことになったのか。

(写真左)

審判団として事前に何かできることはなかったか。1試合目の時にピッチチェックをした安心感はなかっただろうかなどを考えてもらった。

<新型コロナ感染予防対策>

- ・参加者及びスタッフ全員が「健康チェックシート」の提出。
- ・受付の際、検温と消毒を実施。体温の高い参加者はいなかった。
- ・クラブハウスは、着替えのみ使用。その他は野外で実施。
- ・試合時以外は、マスクの着用。また、手指、机の消毒。



2021年度 第2回兵庫県審判トレセン 報告

日時	2021年4月25日(日) 9:30~16:00
場所	三木総合防災公園 第2陸上競技場
参加者	藤田和昭、福井成弥、佐々木拓也、トリムジョサイヤ、北村朋也
インストラクター	中村正光、井上克己、浦元雄一郎、福岡渉、梶山勝弘(報告)
内容	実技、講義

報告

<講義>

第1回の振り返りを浦元トレセンマスターから映像を使用して「気づき」「マネージメント」などについて話があった。細かなことであるが試合をスムーズに運営していく、審判員への信頼などに繋がることになることなることに気づかされたのではないかと。

実践に向けて指導者も含め参加者全員が、共通認識が持てたことは良かった。



<実技①> 兵庫県社会人リーグ 1 部 主審：トリム 副審 1：藤田 副審 2：丹有協会割当



<実技②> 兵庫県社会人リーグ 2 部 主審：佐々木 副審 1：福井 副審 2：丹有協会割当



前半の振り返りで学んだ「負傷者の対応」など実践していた。5月23日にカテⅡパスに挑戦する佐々木さんから意気込みの一言があった。

今回の新型コロナウイルス感染予防対策を行い実施した。

<新型コロナウイルス感染予防対策>

- ・参加者及びスタッフ全員が「健チェックシート」の提出。
- ・受付の際、検温と消毒を実施。体温の高い参加者はいなかった。
- ・クラブハウスは、着替えのみ使用。その他は野外で実施。
- ・試合時以外は、マスクの着用。また、手指、机の消毒。

2021 年度 第 3 回兵庫県審判トレセン 報告

日 時	2021 年 5 月 23 日 (日) 8:45~15:00
場 所	みきぼうパークひょうご 第3球技場・クラブハウス2階会議室
参加者	藤田和昭、福井成弥、佐々木拓也、トリムジョサイヤ、北村朋也
インストラクター	中村正光、井上克己、浦元雄一郎、福岡渉、梶山勝弘 (報告)
内 容	実技、講義

報 告

緊急事態宣言が発出している中であったが、今回も新型コロナ感染予防対策を行い実施した。

5月に予定されていた、佐々木、藤田氏のカテⅡパス試験が、緊急事態宣言発出に伴い延期となったが、気持ちを切り替え参加されていた。浦元トレセンマスターから「この様な状況中、体調管理も含め難しいが、良い結果につなげられるよう頑張る欲しい」と激励の言葉があった。

<実技①> 兵庫県社会人リーグ 1 部

主審：藤田 副審 1：福井 副審 2：丹有協会割当



<実技②> 兵庫県社会人リーグ 1 部

主審：北村 副審 1：トリム 副審 2：北播磨協会割当



< 講義（振り返り） >



各インストラクターは、「審判員がどう判断したか」「判断した際にどこにいたか」などを審判員から聞き出し、審判員の考えを尊重しながら伝え、審判員が記憶に残るように伝えた。また、撮影した映像を iPad で映し、振り返りで使用した。

第4回については、新型コロナの感染状況を考慮しながら開催日を検討する。

< 新型コロナ感染予防対策 >

- ・参加者及びスタッフ全員が「健チェックシート」の提出。
- ・受付の際、検温と消毒を実施。体温の高い参加者はいなかった。
- ・クラブハウスは十分に換気した状態にして、第1試合の振り返りと着替えのみ使用。その他は野外で実施。
- ・試合時以外は、マスクの着用。また、手指、机の消毒。

2021 年度 第 4 回兵庫県審判トレセン 報告

日 時	2021 年 6 月 26 日 (土) 9:45~16:30
場 所	五色台運動公園 アスパ五色・クラブハウス 2階会議室
参加者	藤田和昭、トリムジョサイヤ
インストラクター	中村正光、井上克己、浦元雄一郎、福岡渉、梶山勝弘 (報告)
内 容	実技、講義

報 告

今回も新型コロナ感染予防対策を行い実施した。コロナ禍の影響で試合数が少ない中で調整し、第4回を開催することができた。浦元トレセンマスターから今回のテーマである「トーナメント方式の試合におけるマネージメント」についての説明があった。

<実技①> 日本クラブユース選手権 U-15 関西大会

主審：藤田和昭 副審 1：県協会割当 副審 2：県協会割当



<実技②> 日本クラブユース選手権 U-15 関西大会

主審：トリムジョサイヤ 副審 1：県協会割当 副審 2：県協会割当



<講義（振り返り）>

第3回までの実践は社会人のリーグ戦の試合であった。今回は、中学生年代のトーナメント方式であった。試合のカテゴリーが変わったことで、各審判員とも判定に悩んでいたところがあったが、課題や修正点を見つけることができた。

今回も審判員には、カテⅡ審査の日程が決まらない中、審判員は緊張感とトレーニングを維持することは精神的にも大変だが、いつ審査になってもベストで挑めるように伝えた。

第5回については、高校生年代の試合を使用して、7月24日開催予定。

<新型コロナ感染予防対策>

- ・参加者及びスタッフ全員が「健康チェックシート」の提出。
- ・受付の際、検温と消毒を実施。体温の高い参加者はいなかった。
- ・試合時以外は、マスクの着用。また、手指、机の消毒。



2021 年度 第 5 回兵庫県審判トレセン 報告

日 時	2021 年 7 月 24 日 (土) 13:45~20:00
場 所	滝川第二高校グラウンド・クラブハウス控室
参加者	藤田 和昭、福井 成弥、トリム ジョサイヤ、北村 朋也、佐々木 拓也
インストラクター	中村 正光、井上 克己、浦元 雄一郎、小林 清訓、深井 佳晶、 福岡 渉、梶山 勝弘 (報告)
内 容	実技、講義

報 告

今回も新型コロナウイルス感染予防対策を行い実施した。コロナ禍の影響で試合数が少ない中で2種のご協力で「高円宮杯U-18 サッカーリーグ2021兵庫リーグ1部・2部」を使用させて頂き、第5回を開催することができた。

現役、カテゴリー審判員からカテⅡパスの注意点やカテゴリー審判員の心得などの話があった。



<実技①> 兵庫県リーグ 1 部 主審：佐々木 副審 1：小林 副審 2：藤田 第 4 審判員：トリム

<実技②> 兵庫県リーグ 1 部 主審：福井 副審 1：北村 副審 2：トリム 第 4 審判員：藤田



<講義（振り返り）>

30℃を超える中の試合となったが、カテⅡパス当日（8月実施）も同様の条件となることが予想されるため、良いトレーニングとなった。

スタッフは、審査日が決まったことで各審判員の心構え（自覚）や意気込みを確認するためのトレセンでもあった。現役、カテゴリー審判員から動きなどのアドバイスを試合で実践する審判員もいた。

振り返りは時間が許す限り行い、直ぐに改善できる課題と長期的な課題を分けカテⅡパス合格のアドバイスをを行った。まだまだ伝えきれていないところもあるが、関わったスタッフは、全員合格を願うばかりです。

最後に浦元トレセンマスターから「審査までの残り少ない時間をどのように使うかは審判員次第である」とのお言葉があり、審査までの注意事項と激励の言葉があった。



<新型コロナ感染予防対策>

- ・参加者及びスタッフ全員が「健康チェックシート」の提出。
- ・受付の際、検温と消毒を実施。体温の高い参加者はいなかった。
- ・試合時以外は、マスクの着用。また、手指、机の消毒。

以上